

日本山岳救助機構（jRO：ジロー）会員の皆様

〒160-0022
東京都新宿区新宿1-20-14 サンモール第8マンション203
(平成25年11月jRO本社事務所を上記へ移転いたしました)

日本山岳救助機構合同会社

2013年度の事後分担金のご通知とご報告 および2012年事後分担金の精算についてのお知らせ

I、2013年度事後分担金のご通知: **800円**

会員期間開始日が属する計算期間の、上記の事後分担金のお支払をお願い申し上げます。

- ・事後分担金とは、各年の1月1日から12月31日の間に発生した、カバレッジ制度の遭難救助費用補填金及び臨時費用補填金(以下補てん金と略)の総額を会員総数で除したものです。
- ・2013年度の計算期間は2013年1月1日～12月31日です。この期間に会員期間が開始された会員の皆様にも、1会員あたり800円の事後分担金のお支払をお願い申し上げます。
- ・団体・家族会員の方は、それぞれの会員期間ではなく、本会員の会員期間開始日(管理期間)が2013年1月1日～12月31日の場合に、2013年の事後分担金のお支払いをお願いいたします(現行規約上、団体・家族各会員の開始日が2013年に属していない場合でも、本会員開始日が2013年の場合には、2013年の事後分担金をご負担いただいております。ご了承をお願いいたします)。
- ・事後分担金には団体割引・家族割引等はありません。
- ・計算方法についてはP2～3のⅢをご参照ください。

II、2012年補てん金額の確定による相殺(割引)額: **▲200円**

対象となるのは2013年のjRO会員、かつ2012年事後分担金支払済みの会員の方です(退会者等を除きます。注をご参照ください)。

- ・2012年度の事後分担金は昨年700円と算出しましたが、2013年11月12日現在カバレッジ対象額が訂正確定し、結果として事後分担金としてお支払いいただいた金額の総額が2012年度補てん金総額を上回ったため、2012年継続会員の方に**▲200円**を相殺(割引)させていただきます

注:2013年にjRO会員で、かつ2012年事後分担金をお支払いいただいた方でも、下記の方の場合はシステムの関係上相殺処理を行うことができません。ご了承をお願いします。

- すでに退会済、または2013年jRO会員でない方
2013年度事後分担金のご案内および2014年度への継続ご案内が送付できない場合等
 - 2012年の本会員(団体・家族会員の本会員)がすでに退会している方
2012年は個人会員で2013年継続希望に個人を退会し、新たに団体へ加入した場合等
 - 2012年と2013年では、本会員が異なる方
所属の団体を変更した場合等(2012年の事後分担金をお支払いいただいた2012年度の本会員ではなく、2013年度の本会員へ相殺(割引)処理が行われます)
- ・各会員に関しての金額の詳細は2013年度から2014年度への継続のご案内をご参照ください。
 - ・2012年事後分担金の確定額計算についてはP4以降をご参照ください。

上記に対象の方の2013年事後分担金は、1会員あたり **600円** (800円-200円=600円)となります!!

2013 年度補てん金お支払い対象表

月	遭難発生場所	遭 難 概 要	原因	身体被害	補てん金額	未払額 (見込)
1	北ア 剣岳 小窓尾根	2013 年 1 月 3 日に 4 名パーティーと連絡がとれなくなったことにより遭難の可能性が疑われる。遭難は 2012/12/30 の入山から 2013/1/2 の間に発生したものと推測される。その後 捜索活動が本格化する。4 名のうち 3 名が JRO 会員。2013 年の事後分担金には、事故日の特定が不可能なため、2012 年度と按分し 50%分計上。請求手続き中。	雪崩 (推測)	死亡		¥1,650,000
1				死亡		¥1,650,000
1				死亡		¥1,650,000
1	八ヶ岳 赤岳 主稜	12/31 主稜登山中 時間切れで懸垂下降を行ったが、ルートを誤り途中で断念。翌 1/1 午前 2 時ビバークのため雪洞を掘っている際に滑落。翌朝、警察救助隊より救出。ヘリで病院へ搬送	転滑 落	病院 収容	¥154,136	
1	北ア 西穂高	北ア西穂高岳(標高 2,909m)の山頂付近にいた男女 3 名のパーティーから、1 日午後凍傷や疲労で動けなくなったと 110 番。同県警山岳警備隊員は 2 日朝から現場付近に向かったが、吹雪などで視界が悪くこの日の救助は断念。3 日早朝に再開する。県警高山署によると、3 名はいずれも神奈川県藤沢市在住の会社員で山岳会仲間。携帯電話お通じており 2 日午後 4 時頃に同署と連絡すると、この時点では連絡がつき 3 名とも意識はありテントでビバーク中との事であった。	悪天 候 凍傷 等	死亡	¥408,730	
1	北アルプス 大天井岳	体調不良と天候悪化により 自力で下山ができなくなってしまった。 1/1 未明より天候悪化&体調不良で行動困難ビバークとなる。低温化でのビバーク中でさらに体調悪化し、1/3 同行者が山小屋に救助要請に向かう。所属山岳会関係者も救助活動のため現地へ。1/4 遭対協、県警などにより救助。ヘリにて病院収容。同パーティーで 2 名遭難。対象費用は各按分(1/2)後のもの。	体調 不調 凍傷	病院 収容	¥165,131	
1				病院 収容	¥165,222	
2	北ア 蝶ヶ岳	道迷いと積雪により下山(行動)不能となり ヘリコプターにより救助される。請求手続き中。	道迷 い			¥500,000
2	山形県 天元台 スキー場	滑走中コースを外れたことに気がつき携帯で同行者に連絡。その後 14 時半頃警察に救助要請。連絡をとりつつ移動したが、17 時過ぎに沢に落ち、移動不能となる。22 時頃捜索の打ち切り連絡をうけて、ビバーク。翌日 7 時頃ヘリで発見され救助される。	道迷 い		¥233,708	
3	秩父 両神山	山頂付近の鎖場から約 150m 下の崖で滑落。同行者が警察に救助要請、防災ヘリにより救助されるも死亡が確認。請求手続き中。	滑落	死亡		¥700,000
3	群馬県 安中市 五輪岩	13 日未明、「父が、知人と 2 人で山に出かけたまま帰ってこない」と、群馬県警察に通報があった。警察などは朝からヘリコプターを飛ばすなど、およそ 50 人態勢で捜索したところ、安中市の五輪岩と呼ばれる岩壁付近で、埼玉県に住む 50 代と 60 代の男性 2 名が、頭から血を流して倒れているのが見つかり、まもなく死亡が確認された。現場の状況から、警察では 2 名がロックライミング中に誤って滑り落ちたとみている。	滑落 推測	死亡	¥214,700	
3			滑落 推測	死亡	¥249,850	
3	福井県 越前甲山	山スキーにて下山中に転倒。脚を骨折。自力行動が不能になり、同行者が警察に救助要請。防災ヘリにて病院へ搬送される。請求手続き中。	転倒	病院 収容		¥500,000
3	北ア 鹿島槍ヶ岳 天狗尾根	北アルプス鹿島槍ヶ岳(2889 ㊦)で 27 日午前 11 時すぎ、雪上に人影があるのを県警ヘリコプターが発見し、女性 2 名を収容した。大町署によると、2 名は全身を強く打っており死亡を確認した。同署によると、現場は標高 2 千㊦付近の雪渓上。ザイルで互いの体を結んでおり、1 人のヘルメットが滑っていたという。鹿島槍ヶ岳頂上につながるアラ沢ノ頭(2,618 ㊦)付近の尾根から約 400m 滑落したらしい。2 名はそれぞれ別の山岳会に所属している山仲間。23 日に大町市の大谷原登山口から鹿島槍ヶ岳を目指し、2 泊 3 日の予定で入山していた。	転滑 落	死亡	¥203,680	
4	北ア 樽池 雪倉岳	4/16 入山 4/21 下山 4/24 予備日含む下山予定。単独行。家族はほとんど遅くても 21 日には戻ると伝言。連絡ないため 4/21 家族が大町署へ捜索願。範囲が広範なため、富山県新潟県にもそれぞれ捜索願を出した。捜索活動が広範に行われ 5/15 蓮華温泉付近で山小屋関係者が発見。	雪崩 推測	死亡	¥736,072	
4	中ア 空木岳 池山尾根 大地獄	斜面を下りトラバース中に足元の雪が崩れ滑落、メンバーの視界から消える。当初、同行パーティーで捜索・救助を行ったが、おおよそ 80m ほど下っても発見ができないため、自力での捜索・救助は困難と判断し警察に救助要請。団体関係者にも連絡。引続き同パーティーで 2 次遭難に注意しつつ捜索の結果、負傷した会員を発見して救出。県警からは地上から 2 名の捜索隊が出発。また県警よりヘリは、現在、別地点において発生した雪崩による遭難事故のため出動中との情報とおおよその現場到着時刻の連絡を受ける。夕方ヘリにて医療機関へ搬送される。パーティーは現場付近で暮営、上がってきた	転滑 落 転倒	病院 収容	¥243,557	

		警察救助隊と合流して翌日下山。なお、地元遭対協はヘリによる対応ができない場合に備えて登山口で待機。クラブOBも現地へ駆けつける。				
5	北ア 爺が岳	スキートラバース中に転倒して左肩関節脱臼。地元遭対協により救助された。	転倒	病院 収容	¥48,540	
5	北ア 北徳	滝谷ドーム手前まで単独で入るも、ホワイトアウト視界不良により行動不能になり地元遭対協により救助される。	天候	なし	¥209,153	
5	八ヶ岳 天狗岳 中山峠	大きな岩のある登山道を下山中、スリップして転倒し滑落。顔面を岩に打ち頬骨骨折。とりあえず小屋まで自力で到達、小屋経由で救助要請。ヘリで諏訪のヘリポート経由で病院収容。	転倒 滑落	病院 収容	¥47,760	
6	飯能市 日和田 山	単独登攀の練習中、ビレイデバイスがフィックスロープにロックしてしまう。外そうとしたが外せず、ハーネスそのものも外すことができず宙づりとなる。翌朝登ってきた別パーティーに意識をほぼ失った状態で発見され、救助。ヘリで病院に搬送された。	滑落	病院 収容	¥135,160	
7	南ア 農鳥岳	農鳥岳頂上から150mほど下ったあたりの雪渓で滑落。200mほど滑落したところで、木の枝をつかんだが折れてさらに50mほど滑落。とにかく尾根を目指す、力つきて救助要請。ヘリの音は聞こえるが、視界悪く、夕方で時間切れとなり、ビバークするよう指示を受ける。翌朝5時頃ヘリで救出される。	滑落	なし	¥16,290	
8	北ア (槍・穂 高) 大キレット	9時半頃、一般縦走路上の一枚岩でスリップ転倒する。右足首を強くひねり、テーピングなどで処置したもの、荷重をかけられない状態のため警察に救助要請を行う。付近をパトロール中の遭対協隊員2名が現場に駆けつける。ヘリによる救助要請を行う。13時頃松本空港を出発した県警ヘリ「やまびこ」は視界不良のため救助困難と判断。ビバークの可能性が高いため、洞沢からも救助応援2名出発。その後、県防災ヘリ「アルプス」が出発。14時半頃救助され病院へ収容。	転倒	病院 収容	¥120,000	
8	南ア 塩見岳	塩見岳から三伏峠の下山中、12時頃本谷山手前の林間部で水たまりに足を取られて転倒し右足首を痛める。歩行困難のため救助要請するが、携帯電話は繋がらない。同行者が三伏峠小屋まで走り、13時20分頃救助要請。その間に付近他パーティーによる応急処置を受け、付き添いを受けながら、5時間ほどかけて山小屋に到着。翌朝7時ヘリにて病院に搬送される。	転倒	病院 収容	¥56,770	
9	北ア 岳沢 小屋	段差のあるところを歩いているとき足を踏み外して転倒した。詳細まだ不明。請求手続き中。				¥500,000
11	北ア 穂高岳	洞沢岳から北徳への縦走中、途中20mから30m滑落した。自力で山小屋まで行ったが、それ以降動けなくなり、長野県警に救助を要請。救助隊7人が出動した。請求手続き中。				¥500,000
小計 2013/11/12 現在				A	¥3,408,459	¥7,650,000
総額(支払済+未払(見込)額)				B		¥11,058,459
推計値(11/12 現在未報告案件及び11/12以降発生案件に対応するため 下記参照)				C		¥14,850,000
2013 事後分担金算出の基礎数字(事後分担金計算式の分子)B+C				D		¥25,908,459
2013 会員総数(11/12 現在のエラー無会員総数)				E		34,086 名
2013 事後分担金 D÷E=¥760 (端数切り上げ)				F		¥800

◎推計値 (C欄 14,850,000 円) の算出について

- ・一般的に12月の遭難件数は他月に比べて多く発生し、積雪期のため捜索救助費用も高額となる傾向にあります。過去においても2012年は2件4名、2009年は2件、2008年12月は3件のカバレッジ対象となる遭難事故が発生しています(2011年には発生はありませんでした)。2012年のものは、遭難事故の発生日の特定ができないため2013年1月と按分対応していますが、高額な捜索費用が発生する可能性の高い案件です。また過去にはほぼ満額のカバレッジの支払いもあります。
- ・JRO会員数は2009年末の会員数約1万名に比べて、3.4倍(約3.4万人)となり、事故件数はそのまま3.4倍とはなることはないものの、会員が増えれば遭難件数も増加すると予想しております。
- ・また、遭難事故の発生からその通知まで約1カ月以上かかるケースが多く、11月上旬において事後分担金を算出する場合、10月までの未報告案件のあることも考慮する必要があります。
- ・推計値はある程度の幅を見込みますが、1,485万円という数値はJROの規約による補てん金上限(330万円)の支払いが起きた場合には、4.5名分の金額となり、前記のような過去の経験値を勘案し算出したものです。
- ・2012年の補てん金額が確定されるのは2013年11月を予定しております。
- ・算出した事後分担金に過不足が発生した場合は、相殺または追徴処理を行う予定です。
- ・次ページに2012年度補てん金お支払対象表(確定)を掲げました。

2012年補てん金お支払対象表（確定）

・2012年事後分担金の精算(相殺処理)金額: **▲200円**

・2013年11月現在、昨年度補てん金お支払い対象案件は下表以外の発生は想定できません。よって以下を2012年補てん金総額といたしました。

月	遭難発生場所	遭難概要	身体被害	カバレッジ支払額
1	野沢温泉 スキー場山頂付近	山スキー中にコースを誤り、雪崩に遭う。	無し	¥298,824
			無し	¥298,823
			無し	¥298,823
1	御坂 大幡川四十八滝沢 氷柱	アイスクライミング練習後のトップロープの回収時、懸垂下降ロープをセットする前に約10m墜落。全身特に頭部を強打し死亡。	死亡	¥77,400
1	白馬 スキー場外	山スキー中雪崩に流され、約3時間半後ビーコン信号を発見。2時間後に発見されるも死亡。	死亡	¥309,975
1	八ヶ岳 赤岳	凍傷となり自力での下山ができなくなった。	重症	¥32,915
2	三重県 鈴鹿 藤原岳	単独行。下山の確認が無い為、捜索願を出す。警察主導による捜索打ち切り後、地元山岳団体組織が大規模な捜索を行い4/29に発見。無償で捜索活動との掲載記事もあったが、同団体より捜索活動諸費用の請求があった。	死亡	¥1,383,403
3	北ア 四ツ岳	単独 山スキー中 滑落。警察により救助され、病院へ搬送されたが、同日夜死亡が確認。	死亡	¥90,000
3	北ア 西穂岳	単独で帰宅せず 遭難が疑われる。6月中旬 遺体で発見される。滑落した模様。	死亡	¥141,840
3	二子山 中央稜	4ピッチ目懸垂下降中ロープがスタックヒバークとなる。夜間体調が悪化のため救助要請。	無し	¥6,350
4	中ア 駒ヶ岳	トラバース中に スリップし500mほど滑落 救助隊出動 長野県警ヘリにより救助される。	重傷	¥670,972
4	乗鞍岳	山スキー中 ルートがわからなくなり警察に救助を要請した。前日はヒバーク。体力が落ちていたことも一因。	無し	¥191,646
4	谷川岳 熊穴沢	スキーで滑降中クレバシに落ち負傷する。自力での下山は無理と判断し、携帯で警察に救助要請。ヘリにより病院に収容される。	病院収容	¥17,800
4	北ア 槍ヶ岳 水俣 乗越下部	スリップで滑落20-30m下の立ち木に頭部を強打し、さらに200mほど滑落する。県警へ救助要請し、搬送後死亡が確認される。	死亡	¥263,650
5	三重県 御在所岳	登山中 突然倒れる。他パーティーの看護師による心臓蘇生、地元消防によるAED処置。され防災ヘリで県医療センターへ搬送したものの死亡。	死亡	¥111,841
7	富士山7合目 鳥居山荘付近	鳥居山荘にて17:30頃就寝。夜間気分が悪くなり、トイレへ行く途中の山荘玄関前で倒れ、嘔吐。山荘の人に付き添われて佐藤小屋まで下山。その後は救急車で病院に搬送。	軽症	¥20,000
7	北ア 北穂高岳	大キレットで滑落(請求手続き中)。	死亡	¥1,000,000*
18	北ア 常念岳	下山中に 吐き気 けいれんなどで動けなくなる。付近登山者が救助要請。その日は 遭対協と一緒にヒバーク。翌日 つきそわれて下山する。	軽症	¥254,075
8	北ア 南岳	疲労から転倒し、後頭部を打ち出血。遭対協が駆けつけ、県警ヘリにより救助。	軽傷	¥40,000
8	北ア 西穂	転倒、胸を強打する。下山に時間がかかり、暗闇のなかで登山道がわからなくなり、救助要請	軽傷	¥34,560
9	北ア 槍 東鎌尾根	転落、約30m落下し、左肩を骨折。レスキューを要請、ヘリで、松本の病院に搬送される。	重傷	¥155,054
10	中ア 槍尾岳	前日の行動中に胸に痛みがおこり、動けなくなった。救助要請を行い、遭対協が現場に。翌朝ヘリで救助。病院で診察を受ける。	病院収容	¥287,823
12	南ア 仙丈ヶ岳	雪とガスのためルートがわからなくなる。自宅家族より小屋および地元警察に救助要請。当日はヒバーク。翌朝救助隊と合流、無事下山。	無し	¥1,317,799
12	北ア 剣岳小窓尾根	2013年1月3日に4名パーティーと連絡がとれなくなったことにより遭難の可能性が疑われる。遭難は2012/12/30の入山から2013/1/2の間に発生したものと推測される。その後 捜索活動が本格化する。4名のうち3名がJRO会員。2012年の事後分担金には、事故日の特定が不可能なため、当年度50%分計上。3名分。	不明	¥4,950,000
2012年度補てん金額合計				¥12,253,573

◎2012年度 事後分担金 精算額

上のカバレッジ対象額および口座振替等によるお支払状況により、2012年事後分担金の確定精算額は、**会員1名あたり▲200円の相殺**といたしました。事務処理の効率化のため100円未満を切捨てました。また、相殺(割戻)処理はシステム上、対応ができない場合が一部あります。ご了承をお願い申し上げます。

2012年度事後分担金お支払い状況	口座請求額	振替不能額	差引額	口座振率
1/27~10/28口座請求実績	¥17,356,500	¥878,500	¥16,478,000	94.938%
ゆうちょへのお支払			¥144,900	
11/27 口座請求見込	¥661,500	¥33,482	¥628,018	95%
合 計	¥18,018,000	¥911,982	¥17,250,918	
2012年度 カバレッジ対象額	¥12,253,573		受付済事故2件を除き確定済上表参照	
超過額:A	¥4,997,345		12253573-17250918	
事後分担金お支払済人数:B	24,695名		10/27迄の支払実績及び11/27以降予定人数	
事後分担金精算額:A/B	¥200		¥202-の100円未満を切捨て	

以上